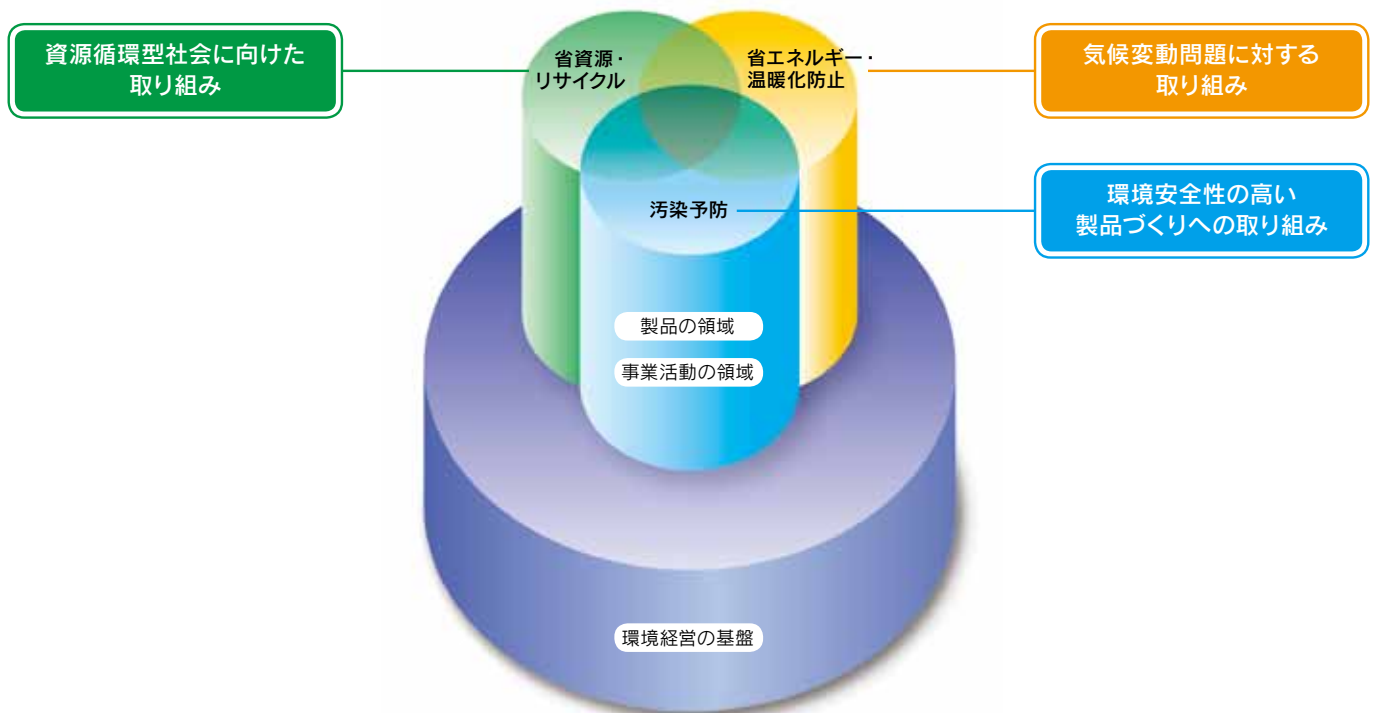




リコーグループの「環境経営」は、環境保全と利益創出の同時実現を意味します。これを「環境技術開発」「全員参加の活動」によって推進しています。「製品」および「事業活動」、それぞれについて「省エネルギー・温暖化防止」「省資源・リサイクル」「汚染予防」の3つの領域（3本柱）で活動を展開し、その活動を効率的に推進するために「環境経営の基盤」を整備しています。

■リコーグループの環境経営の全体像（3本柱と基盤）



《報告組織の概要》

株式会社リコーは、1936年2月6日に日本で設立されました。リコーグループは、株式会社リコーおよび子会社227社、関連会社7社で構成*されており、世界5極（日本、米州、欧州、中国、アジア・パシフィック）において、複写機やプリンターなどの事務機器を中心に、製品の開発・生産・販売・サービス・リサイクルなどの事業を展開しています。全世界での従業員数は、約109,000人です。

* 関係会社の範囲は米国会計基準に拠っていますが、日本の会計基準における関係会社の範囲との差異はわずかです。

リコー本社事業所
〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1 リコービル
代表電話：03-6278-2111
ホームページアドレス <http://www.rioh.co.jp>

《主な事業内容》

画像&ソリューション分野

●画像ソリューション

デジタル複写機、カラー複写機、アナログ複写機、印刷機、ファクシミリ、ジアゾ複写機、スキャナ、MFP（マルチファンクションプリンター）、プリンターなどの機器および関連消耗品・サービス・関連ソフトなど

●ネットワークシステムソリューション

パーソナルコンピューター、サーバー、ネットワーク機器、ネットワーク関連ソフト、アプリケーションソフトおよびサービス・サポートなど

産業分野

サーマルメディア、光学機器、半導体、電装ユニット、計量器など

その他分野

デジタルカメラなど

リコーグループの主なブランド

リコーグループは、RICOHおよび下記の各ブランドで、製品・サービスを提供しています。

